

# 令和3年度 北上商工会議所 第1回経営状況調査報告書 (2021年1～6月期 実績 ・ 2021年7～12月期 見通し)

〔D I 値 (景況判断指数) とは〕

D I 値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味を示す。

D I 値は、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引き、景況感の方向、強弱を示します。

調査項目は【業況】【売上】【採算】【仕入単価】【販売単価】【従業員】【資金繰り】について調査。  
〔調査対象数・回答状況〕

調査対象事業者数：150社 回答企業数：149社 (回答率：99.3%)

※販売単価は2020年1月からの調査開始 ※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I

業況については、実績において▲31.6と前年同期比で20.9P改善され、7月から12月までの見通しでも前年同期から11.6P改善され好転すると見通す企業が増加した。

売上高については、全産業の実績において▲28.9と36.3P改善され、見通しでも5.4P改善され増加すると見通す企業が増加した。

採算については、全産業の実績において▲32.9と27.3P改善され、見通しでも15.9P改善され好転すると見通す企業が増加した。

仕入単価については、全産業の実績において▲43.6と前年同期比から27.4Pマイナスが増加し仕入単価の上昇が見受けられ、見通しにおいても32.6Pマイナスが増加し引き続き仕入単価が上昇すると見通す企業が増加した。

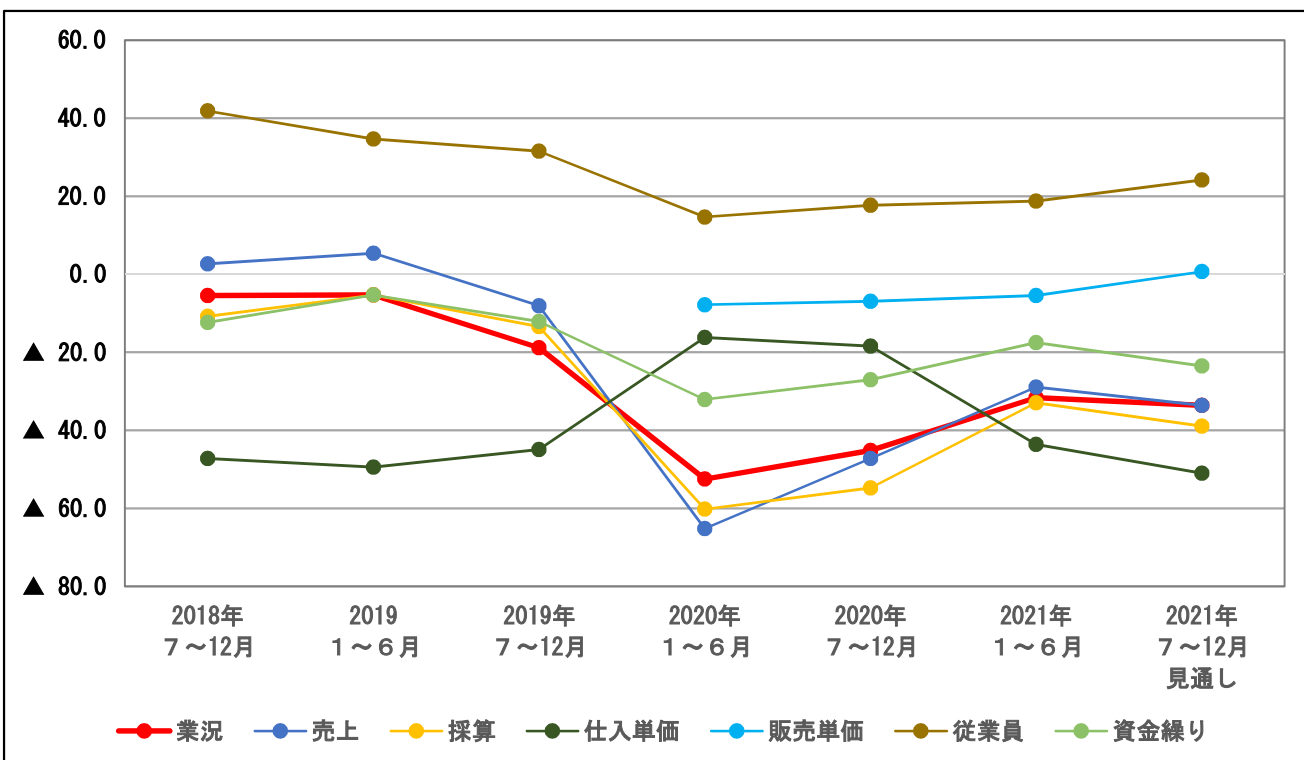
販売単価については、全産業の実績において▲5.4と前年同期比で横ばいではあるが2.4P改善され、見通しでは0.7と上昇するとの企業が下落するとの企業を上回った。

従業員については、全産業の実績において18.8と4.1P増加し、見通しにおいても24.2と従業員不足とする企業が増加した。

資金繰りについては、全産業の実績において▲17.5と14.6P改善され、見通しにおいても3.5P改善され前年同期に比べ好転すると見通す企業が増加した。

しかしながら、岩手県緊急事態宣言発出前の調査であり、今後の動向を注視する必要がある。

《業況DI(全産業・前年同期比)の推移》



1 業況DI（「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合）

●全産業の業況DIは、▲31.6（前年同期比+20.9ポイント）

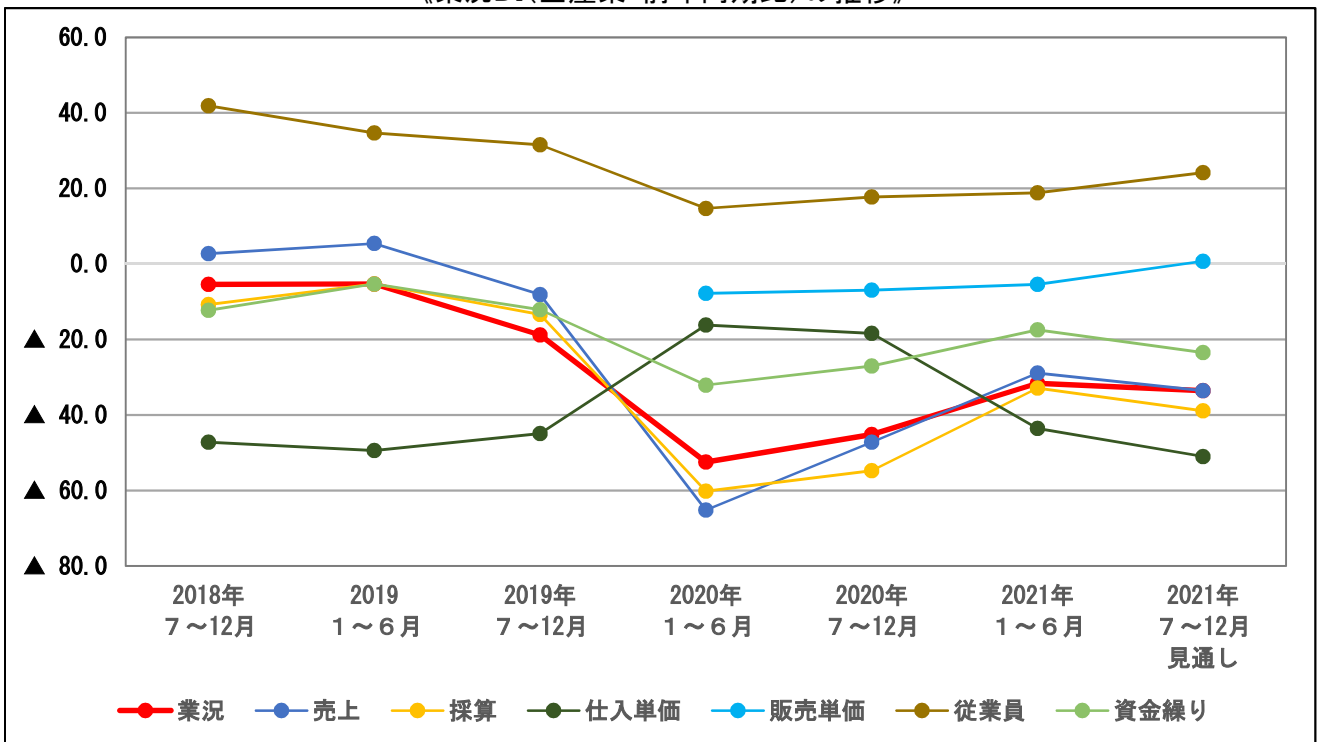
●見通しDIは、▲33.6（前年同期比+11.6ポイント）

業況DI（前年同期比）の推移

	業況	売上	採算	仕入単価	販売単価	従業員	資金繰り
2018年 7～12月	▲ 5.4	2.7	▲ 10.8	▲ 47.2		41.9	▲ 12.3
2019 1～6月	▲ 5.3	5.4	▲ 5.3	▲ 49.4		34.7	▲ 5.3
2019年 7～12月	▲ 18.8	▲ 8.1	▲ 13.4	▲ 44.9		31.6	▲ 12.1
2020年 1～6月	▲ 52.5	▲ 65.2	▲ 60.2	▲ 16.2	▲ 7.8	14.7	▲ 32.1
2020年 7～12月	▲ 45.2	▲ 47.2	▲ 54.8	▲ 18.4	▲ 6.9	17.7	▲ 27.0
2021年 1～6月	▲ 31.6	▲ 28.9	▲ 32.9	▲ 43.6	▲ 5.4	18.8	▲ 17.5
2021年 7～12月 見通し	▲ 33.6	▲ 33.6	▲ 38.9	▲ 51.0	0.7	24.2	▲ 23.5

※「見通し」は前年同期に比した向こう6カ月の先行き見通しDI

《業況DI(全産業・前年同期比)の推移》



1 業況D I（「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合）

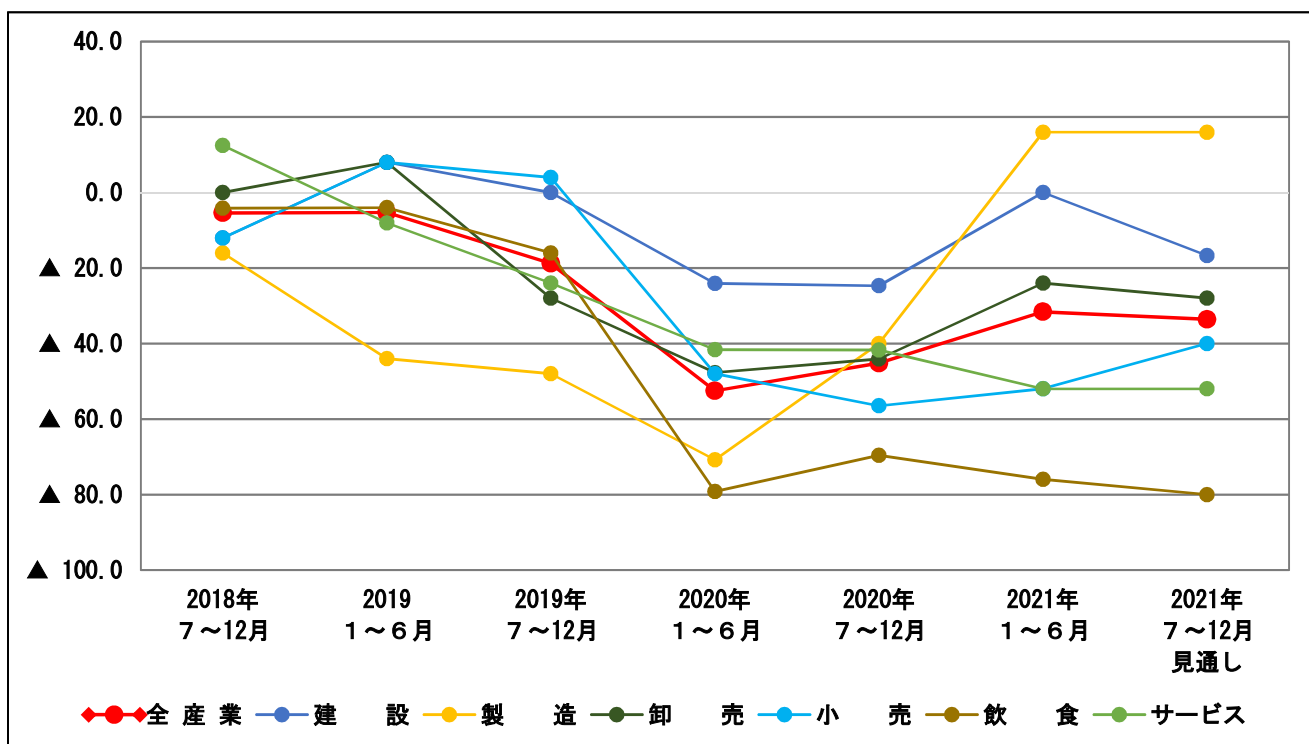
●全産業の業況D Iは、▲31.6（前年同期比+20.9ポイント）

●見通しD Iは、▲33.6（前年同期比+11.6ポイント）

業況D I（前年同期比）の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月	▲ 5.4	▲ 12.0	▲ 16.0	0.0	▲ 12.0	▲ 4.1	12.5
2019 1～6月	▲ 5.3	8.0	▲ 44.0	8.0	8.0	▲ 4.0	▲ 8.0
2019年 7～12月	▲ 18.8	0.0	▲ 48.0	▲ 28.0	4.0	▲ 16.0	▲ 24.0
2020年 1～6月	▲ 52.5	▲ 24.1	▲ 70.8	▲ 47.7	▲ 48.0	▲ 79.2	▲ 41.6
2020年 7～12月	▲ 45.2	▲ 24.7	▲ 40.0	▲ 44.1	▲ 56.5	▲ 69.6	▲ 41.7
2021年 1～6月	▲ 31.6	0.0	16.0	▲ 24.0	▲ 52.0	▲ 76.0	▲ 52.0
2021年 7～12月 見通し	▲ 33.6	▲ 16.7	16.0	▲ 28.0	▲ 40.0	▲ 80.0	▲ 52.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I



## 2 売上高D I（「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）

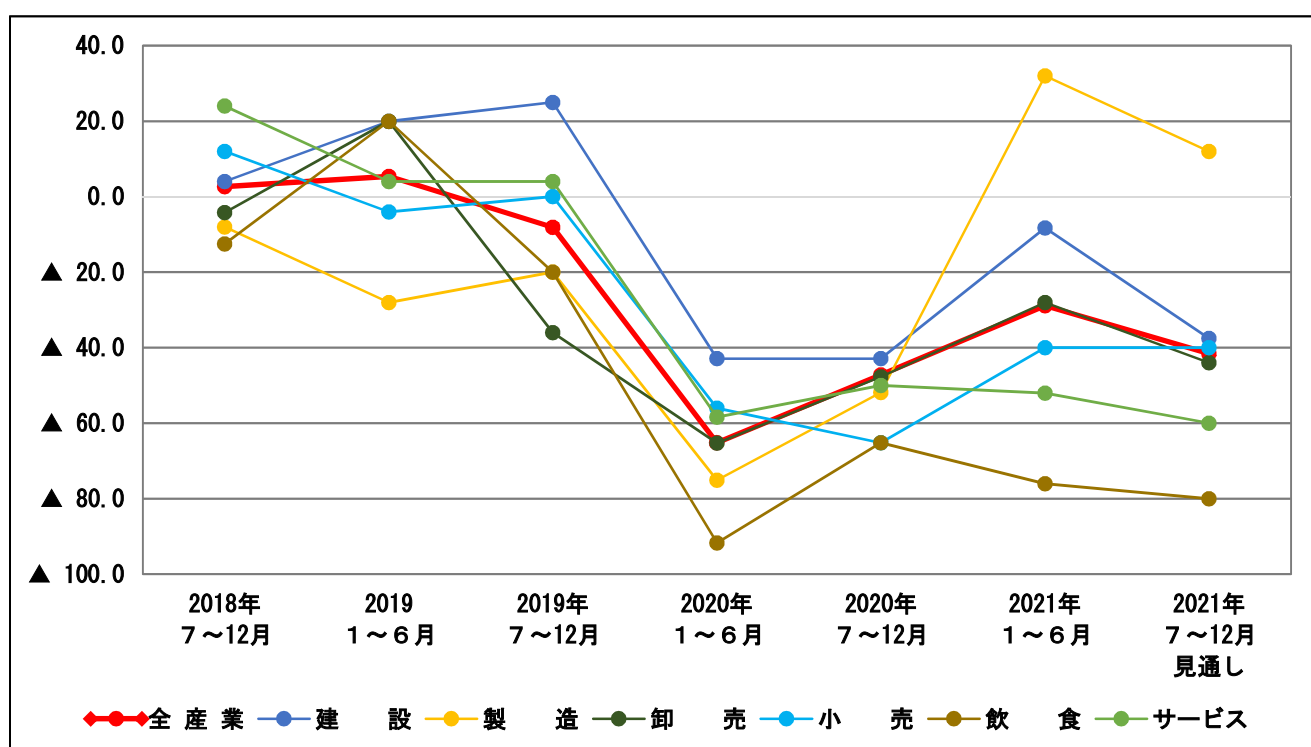
●全産業の売上D Iは、▲28.9（前年同期比+36.3ポイント）

●見通しD Iは、▲41.6（前年同期比▲5.6ポイント）

売上D I（前年同期比）の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月	2.7	4.0	▲ 8.0	▲ 4.2	12.0	▲ 12.5	24.0
2019 1～6月	5.4	20.0	▲ 28.0	20.0	▲ 4.0	20.0	4.0
2019年 7～12月	▲ 8.1	25.0	▲ 20.0	▲ 36.0	0.0	▲ 20.0	4.0
2020年 1～6月	▲ 65.2	▲ 42.9	▲ 75.1	▲ 65.3	▲ 56.0	▲ 91.7	▲ 58.4
2020年 7～12月	▲ 47.2	▲ 42.9	▲ 51.9	▲ 47.7	▲ 65.2	▲ 65.2	▲ 50.0
2021年 1～6月	▲ 28.9	▲ 8.3	32.0	▲ 28.0	▲ 40.0	▲ 76.0	▲ 52.0
2021年 7～12月 見通し	▲ 41.6	▲ 37.5	12.0	▲ 44.0	▲ 40.0	▲ 80.0	▲ 60.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I



### 3 採算D I（「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合）

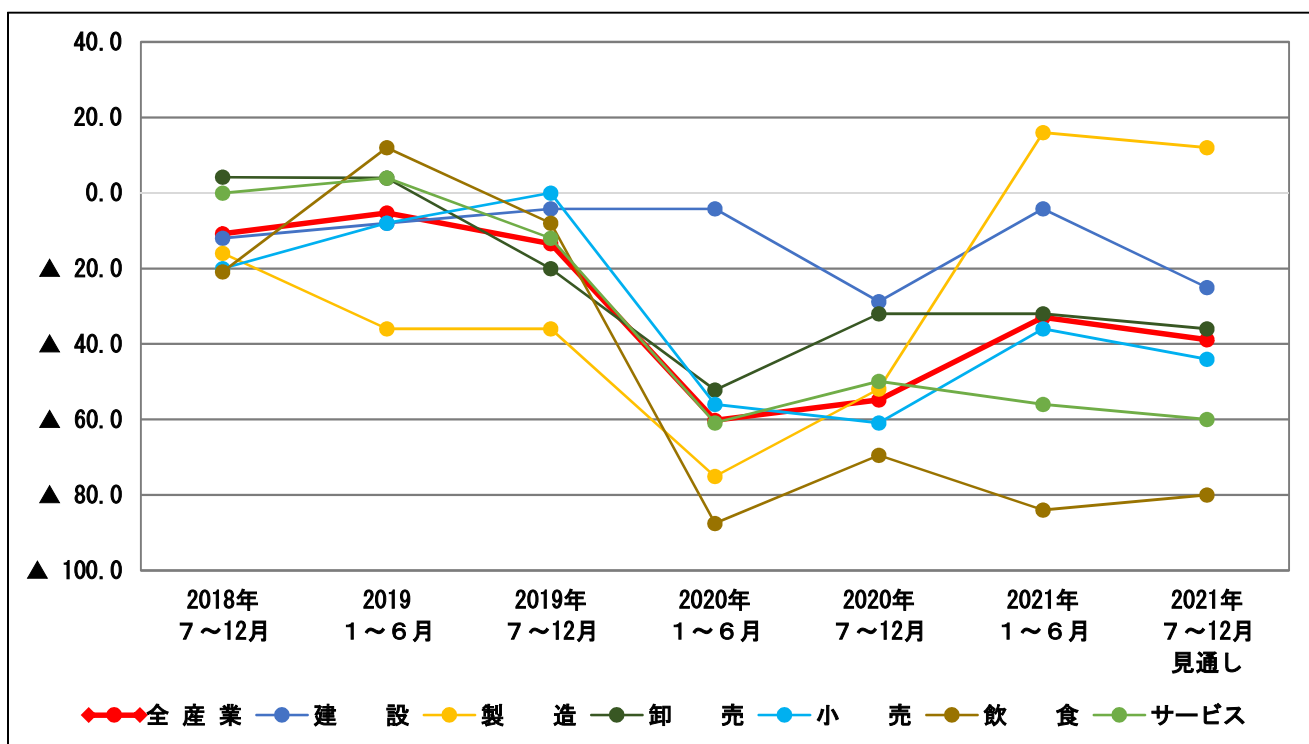
●全産業の採算D Iは、▲32.9（前年同期比+27.3ポイント）

●見通しD Iは、▲38.9（前年同期比▲15.9ポイント）

採算DI(前年同期比)の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月	▲ 10.8	▲ 12.0	▲ 16.0	4.2	▲ 20.0	▲ 20.9	0.0
2019 1～6月	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 36.0	4.0	▲ 8.0	12.0	4.0
2019年 7～12月	▲ 13.4	▲ 4.2	▲ 36.0	▲ 20.0	0.0	▲ 8.0	▲ 12.0
2020年 1～6月	▲ 60.2	▲ 4.2	▲ 75.1	▲ 52.2	▲ 56.0	▲ 87.5	▲ 60.9
2020年 7～12月	▲ 54.8	▲ 28.8	▲ 51.9	▲ 32.0	▲ 60.9	▲ 69.5	▲ 49.9
2021年 1～6月	▲ 32.9	▲ 4.2	16.0	▲ 32.0	▲ 36.0	▲ 84.0	▲ 56.0
2021年 7～12月 見通し	▲ 38.9	▲ 25.0	12.0	▲ 36.0	▲ 44.0	▲ 80.0	▲ 60.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I



#### 4 仕入単価D I (「下落」の回答割合 - 「上昇」の回答割合)

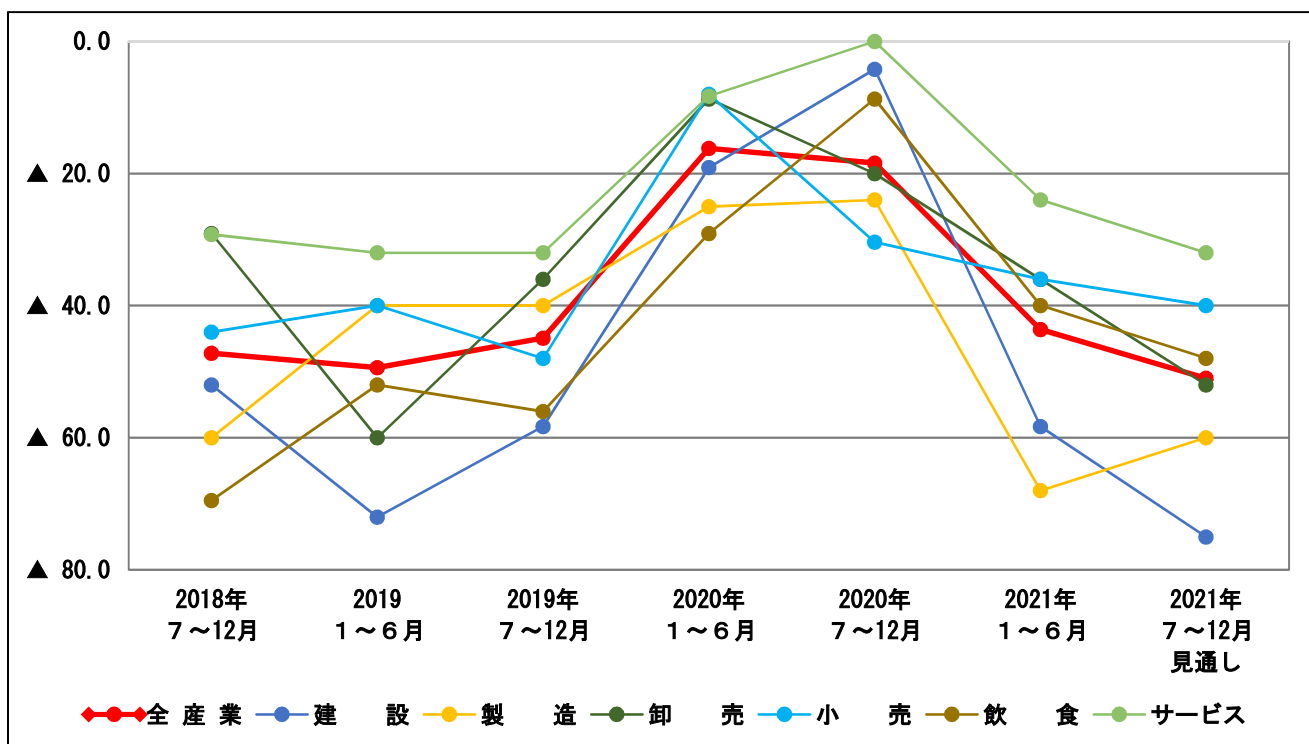
●全産業の仕入単価D Iは、▲43.6 (前年同期▲27.4ポイント)

●見通しD Iは、▲51.0 (前年同期比▲32.6ポイント)

仕入単価DI(前年同期比)の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月	▲ 47.2	▲ 52.0	▲ 60.0	▲ 29.1	▲ 44.0	▲ 69.5	▲ 29.2
2019 1～6月	▲ 49.4	▲ 72.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 52.0	▲ 32.0
2019年 7～12月	▲ 44.9	▲ 58.3	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 48.0	▲ 56.0	▲ 32.0
2020年 1～6月	▲ 16.2	▲ 19.1	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 8.0	▲ 29.1	▲ 8.3
2020年 7～12月	▲ 18.4	▲ 4.2	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 30.4	▲ 8.7	0.0
2021年 1～6月	▲ 43.6	▲ 58.3	▲ 68.0	▲ 36.0	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 24.0
2021年 7～12月 見通し	▲ 51.0	▲ 75.0	▲ 60.0	▲ 52.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 32.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I



5 販売単価D I (「上昇」の回答割合 - 「下落」の回答割合)

●全産業の販売単価D Iは、▲5.4 (前年同期比+2.4ポイント)

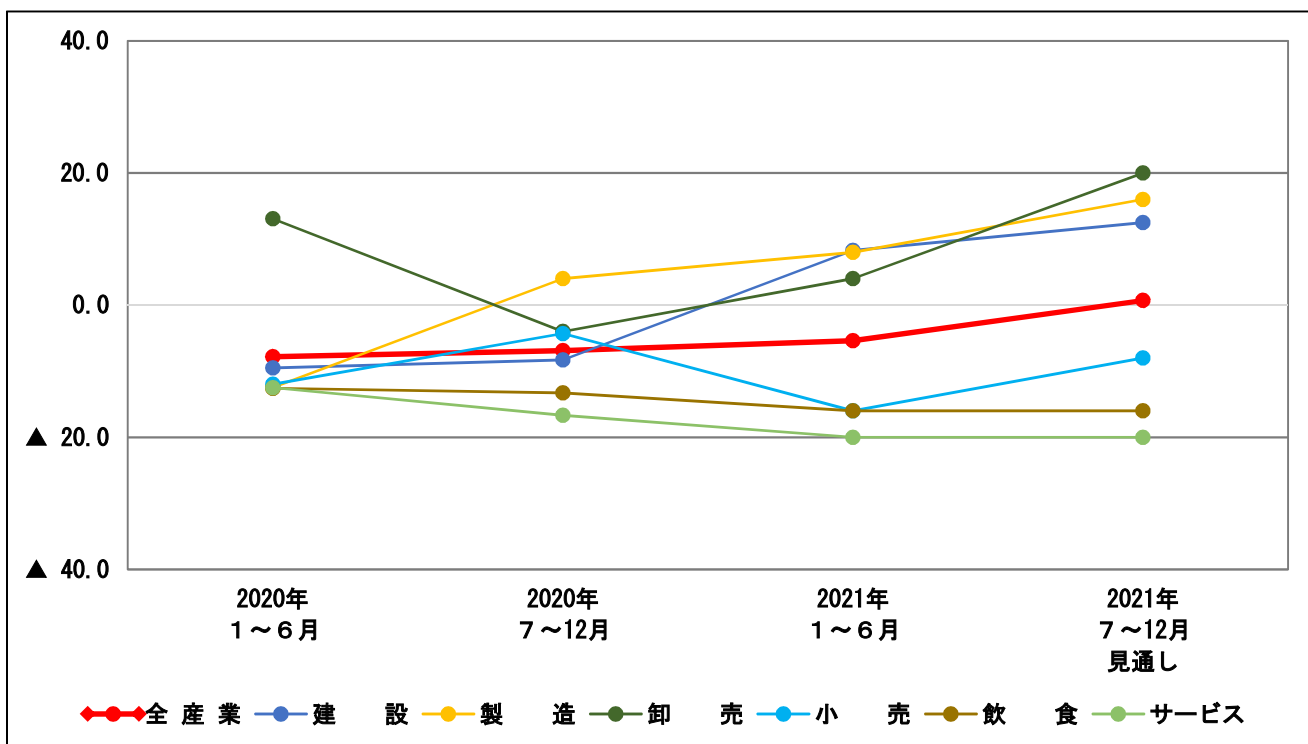
●見通しD Iは、0.7 (前年同期比+7.6ポイント)

※販売単価D Iは、2020年1月からの調査開始

販売単価DI(前年同期比)の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月							
2019 1～6月							
2019年 7～12月							
2020年 1～6月	▲ 7.8	▲ 9.5	▲ 12.5	13.1	▲ 12.0	▲ 12.6	▲ 12.5
2020年 7～12月	▲ 6.9	▲ 8.3	4.0	▲ 4.0	▲ 4.3	▲ 13.3	▲ 16.7
2021年 1～6月	▲ 5.4	8.3	8.0	4.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 20.0
2021年 7～12月 見通し	0.7	12.5	16.0	20.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 20.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I



## 6 従業員D I（「不足」の回答割合－「過剰」の回答割合）

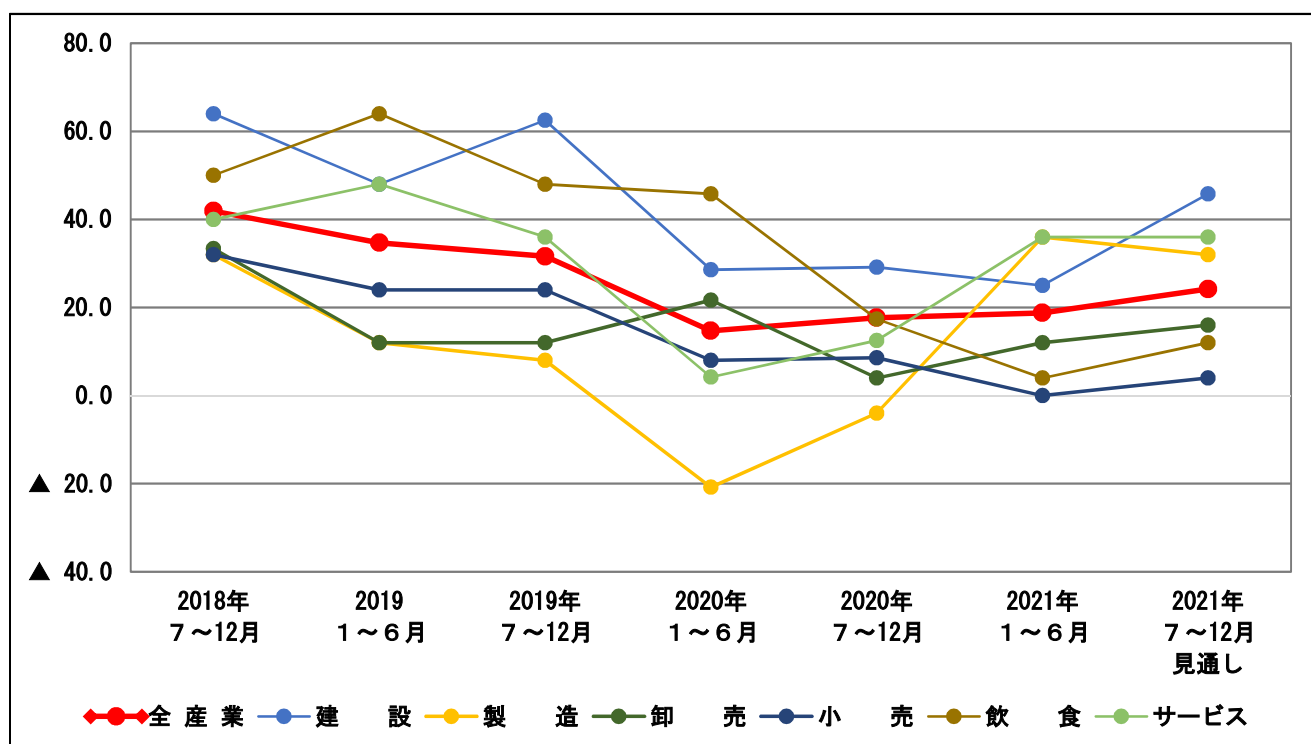
●全産業の従業員D Iは、18.8（前年同期比+4.1ポイント）

●見通しD Iは、24.2（前年同期比+6.5ポイント）

従業員DI(前年同期比)の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月	41.9	64.0	32.0	33.4	32.0	50.0	40.0
2019 1～6月	34.7	48.0	12.0	12.0	24.0	64.0	48.0
2019年 7～12月	31.6	62.5	8.0	12.0	24.0	48.0	36.0
2020年 1～6月	14.7	28.6	▲ 20.8	21.7	8.0	45.8	4.2
2020年 7～12月	17.7	29.2	▲ 4.0	4.0	8.6	17.4	12.5
2021年 1～6月	18.8	25.0	36.0	12.0	0.0	4.0	36.0
2021年 7～12月 見通し	24.2	45.8	32.0	16.0	4.0	12.0	36.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しD I





7 資金繰りDI（「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合）

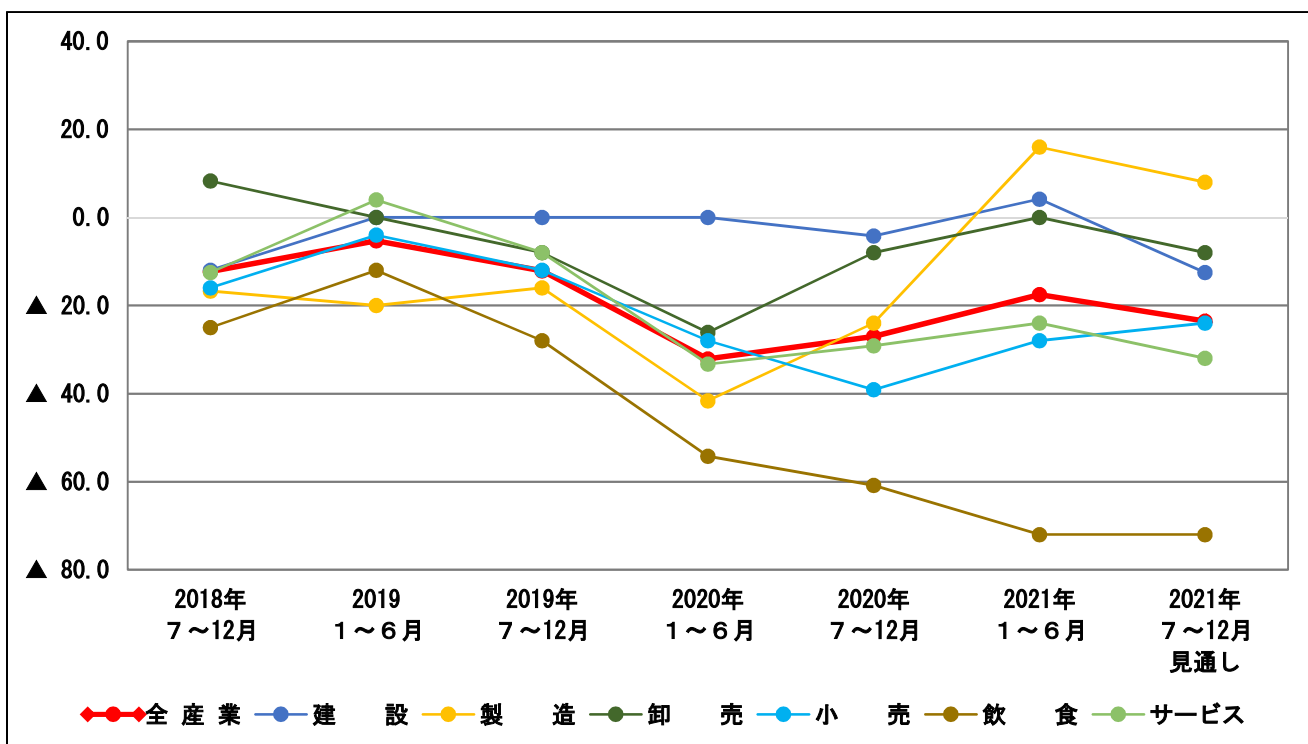
●全産業の資金繰りDIは、▲17.5（前年同期比+14.6ポイント）

●見通しDIは、▲23.56（前年同期比+3.5ポイント）

資金繰りDI(前年同期比)の推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	飲食	サービス
2018年 7～12月	▲ 12.3	▲ 12.0	▲ 16.7	8.3	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 12.5
2019 1～6月	▲ 5.3	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 4.0	▲ 12.0	4.0
2019年 7～12月	▲ 12.1	0.0	▲ 16.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 8.0
2020年 1～6月	▲ 32.1	0.0	▲ 41.6	▲ 26.1	▲ 28.0	▲ 54.2	▲ 33.3
2020年 7～12月	▲ 27.0	▲ 4.2	▲ 24.0	▲ 8.0	▲ 39.1	▲ 60.8	▲ 29.1
2021年 1～6月	▲ 17.5	4.2	16.0	0.0	▲ 28.0	▲ 72.0	▲ 24.0
2021年 7～12月 見通し	▲ 23.5	▲ 12.5	8.0	▲ 8.0	▲ 24.0	▲ 72.0	▲ 32.0

※「見通し」は前年同期に比べた向こう6カ月の先行き見通しDI

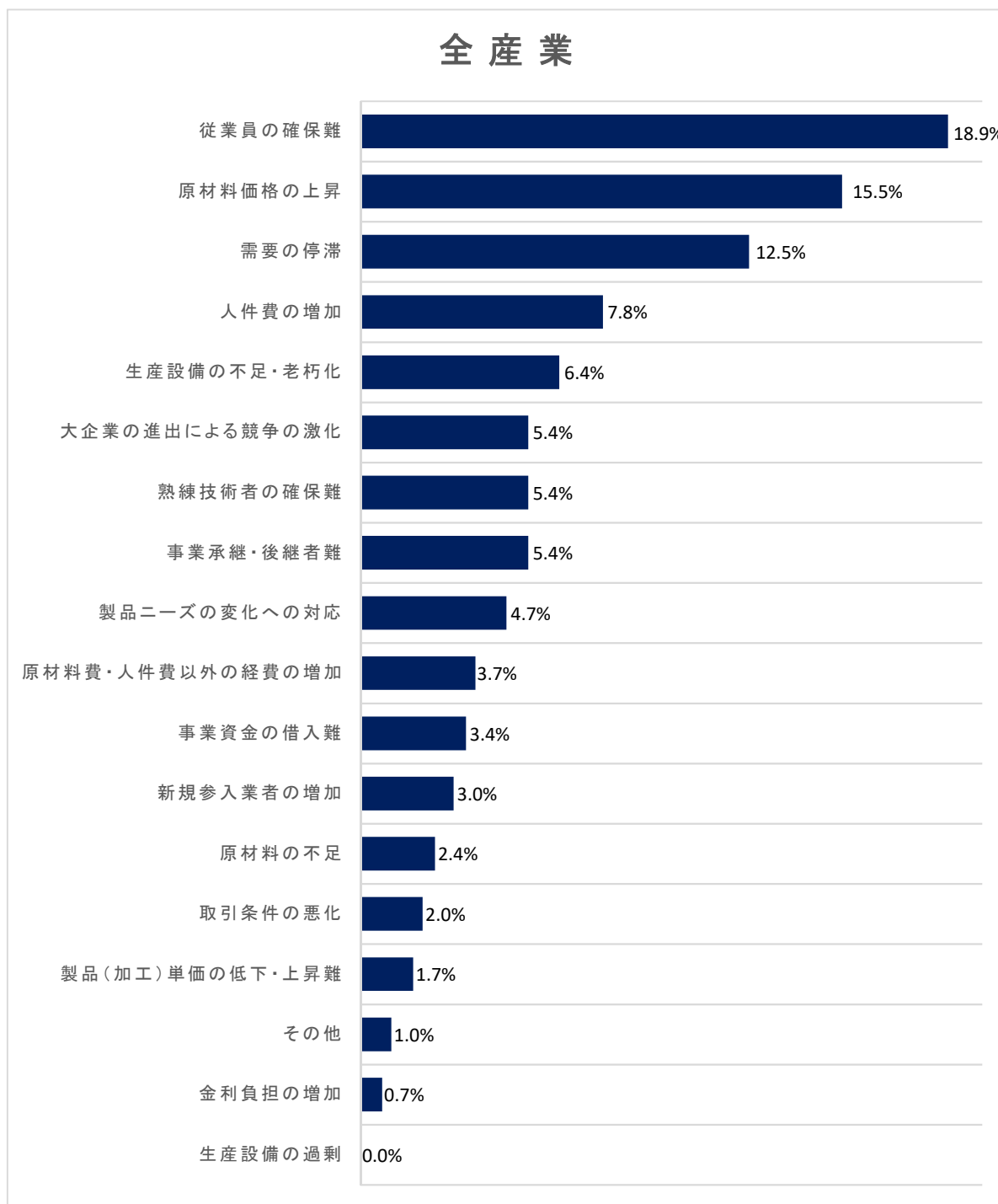


## 8 付帯調査

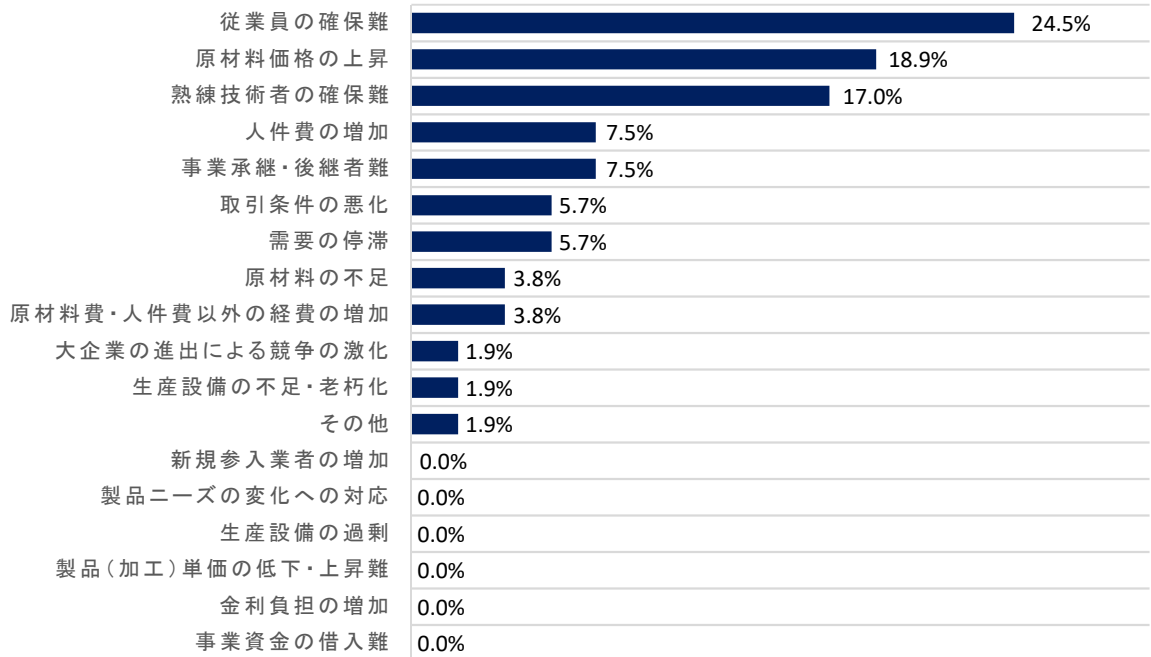
- 新型コロナウイルス感染症の影響を除いて、今期直面している経営上の問題点  
(上位3位までの集計)

### 従業員の確保難、続いて原材料の価格上昇が課題

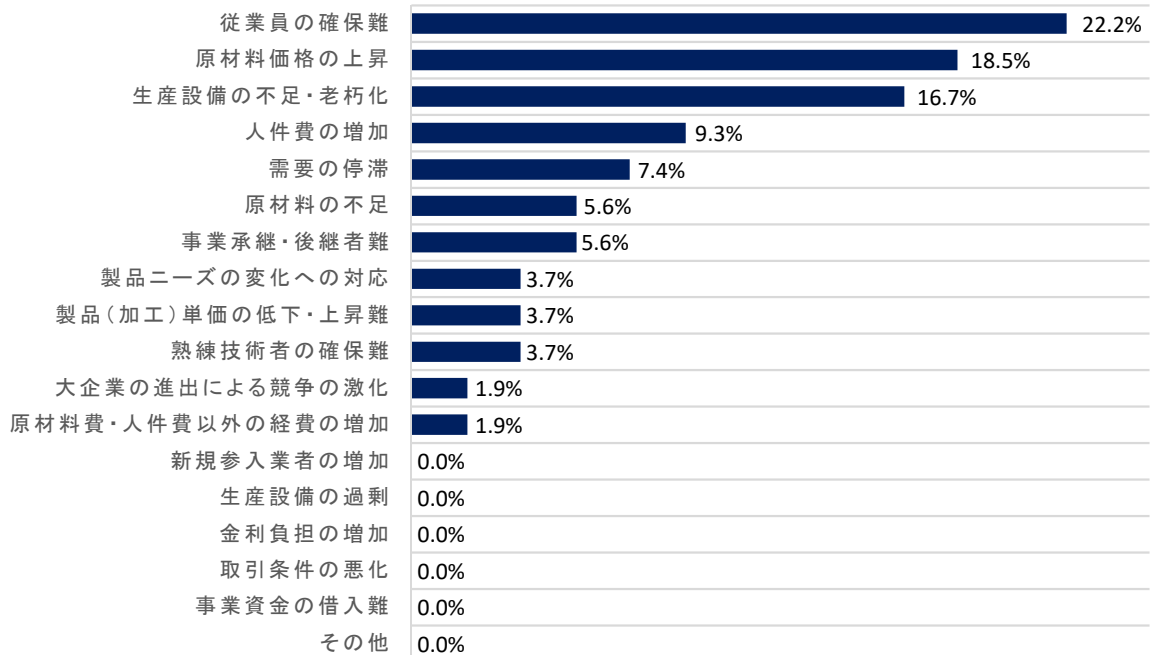
建設・製造・小売・サービスにおいて「従業員の確保難」、卸売では「需要の停滞」、飲食で「原材料の価格の上昇」が第1位となっている。第2位には、建設・製造・サービスにおいて「原材料価格の上昇」、卸売・飲食で「従業員の確保難」、小売では「需要の停滞」がそれぞれ挙げられている。



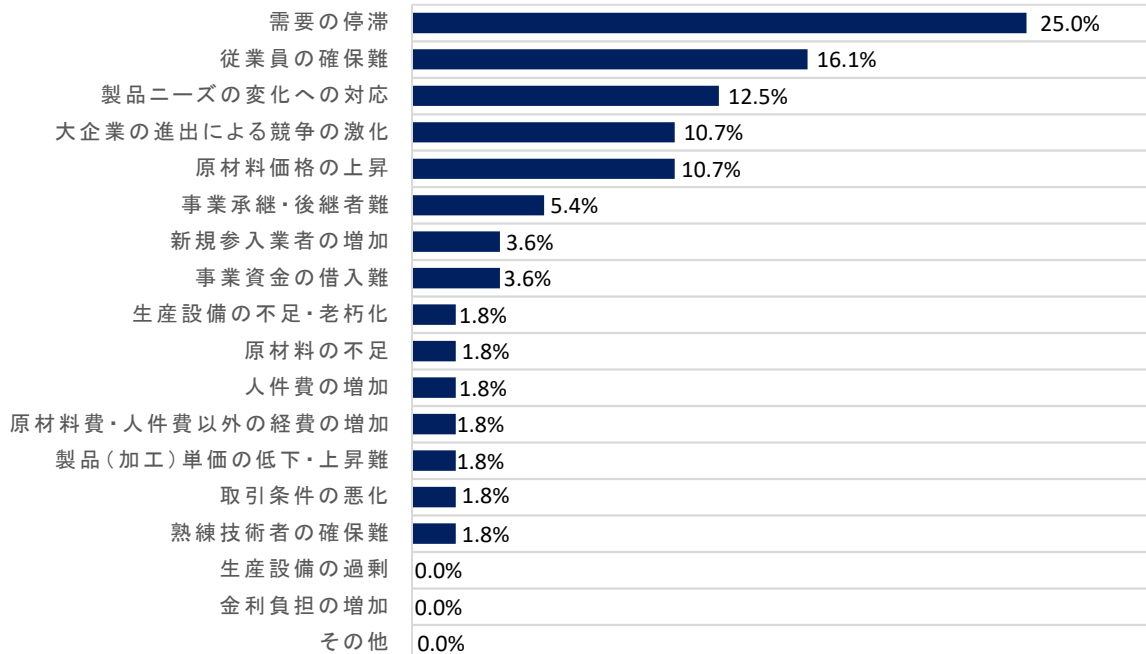
## 建設



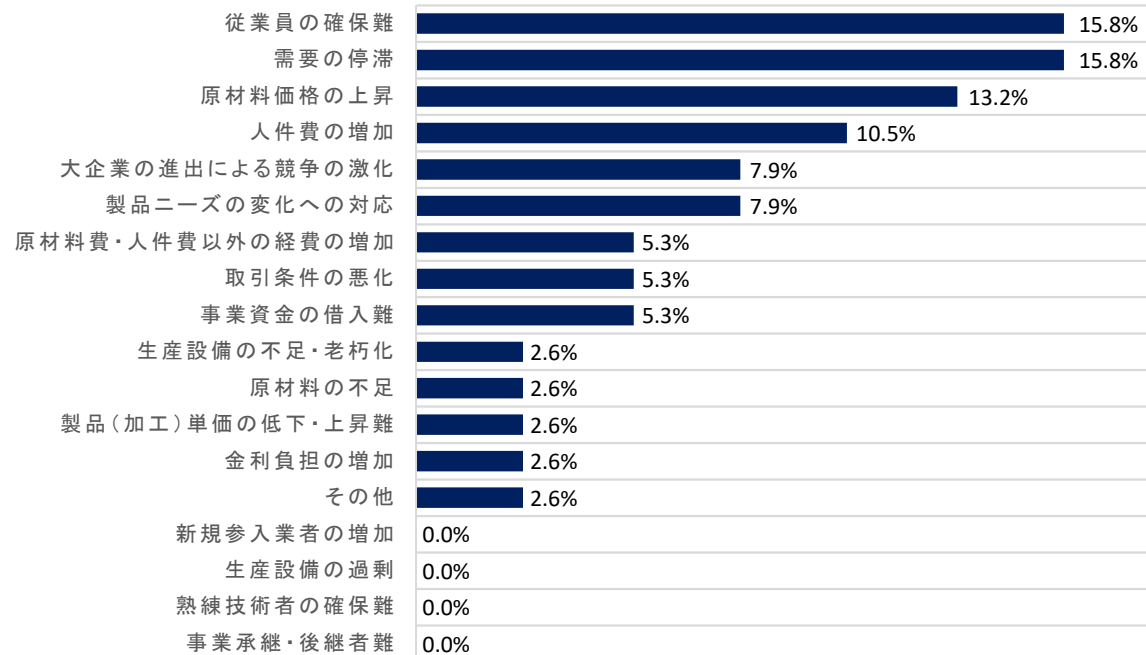
## 製造



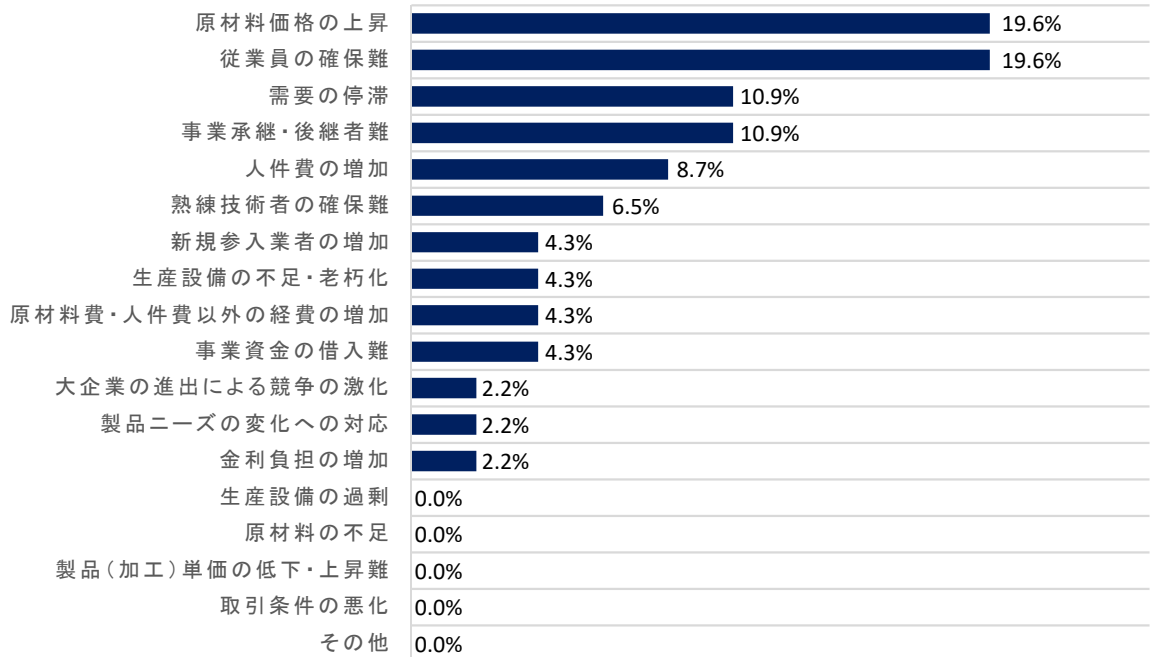
## 卸 売



## 小 売



## 飲 食



## サービス

